

今後のまちづくりはどうなる



質問者
寺嶋 正 議員

① 次期総合計画について

平成23年度からの次期総合計画策定にあたり、町民アンケート調査、各種団体とのまちづくり座談会を実施しているが、どのように反映させるのか。

計画策定の基本方針・町のすがた・まちづくりの課題・町の将来像・施策の大綱などの考え方は。

② 高齢者所在不明問題について

全国で100歳以上の高齢者の所在不明が、相次いで発覚している。

住民基本台帳と介護保険被保険者台帳との照合・調査対象者の拡大・訪問調査などの取組みを伺う。



① 町民アンケートの意向が高い、南口駅前広場の早期完成と北口の整備を打ち出す。また、寄地区の生活排水処理施設事業を推進するよう位置付ける。

座談会の意見を参考

に、幼稚園、寄地区の小中学校の将来的なあり方を打ち出す。まちづくりの柱は、自然環境を育み、環境づくりを育み、元気と心がよいう安らぎの育み、人と文化の育み、創造性豊かな活力の育み、みんなが誇れるまちを育むことが骨子になる。そ

② 100歳以上は直接訪問し、敬老会対象の70歳は民生委員が案内状を手渡しすることで確認している。

注：パブリックコメント計画に対し、電子メールや郵便などで町民から意見を募る制度。

子宮頸がんワクチン予防接種の助成と未来の松田町の定住化について



質問者
鍵和田 貴実代 議員

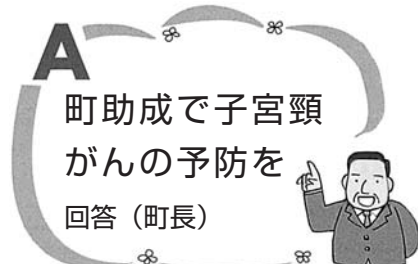
私は、今回の議会に「子宮頸がんの予防に町長の決断で女性を守って下さい」という質問を用意していました。

しかし、8月23日に臨時議会が召集され、町長は予防接種を一番適切な、中学1年生から3年生の対象者163名に3回接種、予算総額778万円

そこで、

① 予防接種助成の周知方法は。

② 子宮頸がん予防接種だけでなく、他の接種の助成により母親の立場にたった目線での松田町定住化について、どう思われていますか。



年生の女子全員に接種していただくために、
① 予防接種助成の周知方法は、町広報紙やホームページ、学校での勧奨などです。また、9月中旬までには、ワクチン接種の「予約票」と公費負担で対応できる定柄上医師会所属の「医療機関一覧表」、さらに、それ以外の医療機関で接種した場合の立替払いの説明等についての個別通知を発送します。(助成額は15,782円×3回)

② 一人ひとりの子どもの成長を大切に見守り、子育て中の保護者に経済的支援や、安心して子育てができる環境整備をさらに取組み、松田町の定住化に努めます。

